

中部労災病院を受診された、及び治療中の患者様へ

当院では下記の要領で臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記にお問い合わせ下さい。

| | |
|---------------------------------|---|
| 研究課題名 (研究番号) | 当院における経腹的腹膜前到達法 (Transabdominal preperitoneal approach:TAPP) 導入後 4 年間の前方到達法との治療成績の比較の研究 |
| 当院の研究責任者 (所属) | 坂口憲史 (外科) |
| 他の研究機関および 各施設の研究責任者 | なし |
| 本研究の目的 | 当院における鼠径ヘルニアの経腹的腹膜前到達法と前方到達法との治療成績の比較 |
| 調査データ 該当期間 | 2014 年 4 月から 2018 年 3 月まで |
| 研究の方法 (使用する試料など) | ●対象となる患者さま 当院当科で 2014 年 4 月から 2018 年 3 月までの期間に鼠径ヘルニア手術を行った 326 人 ●利用する情報 手術時間、合併症の有無、再発の有無、術後疼痛の期間、満足度 |
| 試料/情報の 他の研究機関への提供 およびその方法 | 第 17 回日本ヘルニア学会総会 (三重県) 発表 内視鏡外科学会 論文提出 |
| 個人情報の取り扱い | 個人が特定できる情報は切り離した状態で管理する 解析の段階でパソコンを使用する場合は、研究者のみがアクセスできるようパスワードの管理を徹底する 学会、論文等外部に発表する際は、個人が特定されないよう個人情報を削除する |
| 本研究の資金源 (利益相反) | 本研究に関して、開示すべき利益相反はない |
| お問い合わせ | 電話 : 052-652-5511 担当者 : 中部労災病院 外科 坂口憲史 |
| 備考 | |